

I

次の文章を読み、問1～10に答えよ。

法隆寺などに現存する⁽¹⁾百万塔陀羅尼は、年代が確かな世界最古の印刷物とされる。古代・中世の印刷は仏教と密接に結びついており、平安時代に末法思想が広まると貴族らは写経に代えて木版で印刷した經典（摺經）の奉納を行うようになった。鎌倉から室町時代にかけて、京都五山・鎌倉五山を中心に出版された五山版もよく知られている。

16世紀になると異なった2つのルートで活字印刷の技術が伝えられた。朝鮮からは豊臣秀吉の朝鮮侵略の際に活字が⁽²⁾もたらされ、後陽成天皇の命でこの活字を用いた書物の出版が行われたと考えられている。ほぼ同時期にイエズス会の宣教師らが金属製の活字による技術を伝え、印刷機も導入されて出版が行われた。しかし、この技術はキリスト教の禁止と鎖国政策の影響により途絶えることとなる。

江戸時代になると、紙の生産や流通が発展したこともあり、まずは上方で出版がさかんになり、天明・寛政期には江戸でも多くの書物が出版されるようになった。⁽³⁾一般民衆向けの実用書や読み物もさかんに刊行され、多様な文芸作品が生み出された。寺子屋教育により識字率が向上したことで、人々は書物を通じて文芸に親しむとともに、政治や社会の動きを知るようになった。他方で、出版物の影響力が拡大するにつれ、幕政批判や⁽⁴⁾風俗の乱れを理由にした幕府による規制⁽⁵⁾も行われるようになった。

幕末期より活字の鑄造に取り組んでいた長崎通詞の本木昌造は、1869年に鉛活字の量産に成功する。これにより印刷の技術と効率は大きく向上し、明治期には新聞や雑誌の創刊⁽⁶⁾が相次ぎ、啓蒙書の出版もさかんになった。こうしたメディアの発達は、西洋から摂取した文明を社会へ浸透させるための伝達手段として大きな役割を果たすとともに、雑誌や新聞を通じた言論活動⁽⁷⁾は政治の動向にも影響を与えるようになった。

(8) 大日本帝国憲法では、「言論著作印行集会及結社ノ自由」が規定されたが、新聞紙法や治安維持法などの法律に基づいて内務省が出版物の検閲を行い、出版の禁止・差止や関係者に対する処罰が行われた。⁽⁹⁾1930年代以降、軍部の台頭やさらには戦時統制が強まる中で言論・出版に対する弾圧は厳しさを増した。

(10) 太平洋戦争終結後、それまでの言論・出版に対する統制が緩和されると、出版界は活況を呈し、用紙の不足にもかかわらず、多くの新聞や雑誌が刊行された。

問1 下線部(1)が納められた木造の百万塔をつくらせた天皇が太上天皇であった時期の出来事として、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 道鏡が法王の称号を与えられた。
- ロ 拳兵した橘奈良麻呂が滅ぼされた。
- ハ 大仏の開眼供養が行われた。
- ニ 藤原仲麻呂が太政大臣となった。
- ホ 漢詩集『懷風藻』が編纂された。

問2 下線部(2)に関連する記述として、適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 文禄の役で日本軍は平壤・漢城を占領した。
- ロ 文禄の役後に朝鮮との和平交渉が行われたが決裂した。
- ハ 徳川家康は秀吉の命により朝鮮に出兵した。
- ニ 朝鮮との講和は徳川家光によって実現された。
- ホ 講和成立前に朝鮮から派遣された回答兼刷還使は、朝鮮人捕虜の返還を目的としていた。

問3 下線部(3)に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 奈良時代には紙と木簡が用途によって使い分けられていた。
- ロ 江戸時代には原料となる楮が百姓によって商品作物として生産された。
- ハ 江戸時代には紙漉きが百姓による農間渡世として行われることもあった。
- ニ 江戸時代の代表的な産地としては越前(奉書紙)や美濃(杉原紙)が知られている。
- ホ 江戸時代には、藩によっては紙の専売制が実施されていた。

問4 下線部(4)を理由に幕府の弾圧を受けた林子平の著作からの抜粋はどれか。1つ選べ。

- イ 「日本は海国なれば、渡海・運送・交易は、固より国君の天職最第一の国務なれば、万国へ船舶を遣りて、国用の要用たる産物、及び金銀銅を抜き取て日本へ入れ、国力を厚くすべきは海国具足の仕方なり」
- ロ 「イギリスは、日本に対し、敵国にては之無く、いはゞ付合も之無き他人に候故、今彼れ漂流人を憐れみ、仁義を名とし、態々送り来り候者を、何事も取合申さず、直に打払に相成候はゞ、日本は民を憐まざる不仁の国と存じ」
- ハ 「当世の俗習にて、異国船の入津ハ長崎に限たる事にて、別の浦江船を寄ル事ハ決して成らざる事ト思ひ。…当時長崎に嚴重に石火矢の備有て、却て安房、相模の海港に其備なし。此事甚不審」
- ニ 「海辺之御備の事、かねがね予建議してすでに言上にも及び、伊豆殿しらべられ候へなどかねていひけるに、いまにそのさたなし。しかるに赤人直にも江戸へ来るべしといふは、江戸の入海の事なり。房相二総豆州は小給所多く、城などいふものも少なく、海よりのり入れば永代橋のほとりまでは外国之船とても入り来るべし」
- ホ 「紅毛書にて考るに、ヨロシヤの日本と交易を好むは、数十年以前よりの趣向と見ゆるゆへ、いか様な事をして、交易すべきの心有りと思はるるなり。かくのごとくの次第ゆへ、かたがたに奉行を置いて支配これ無くては、禁制しがたき事ゆへ、この幸便をもって日本の富栄ん事を求るに、かく蝦夷の出産物を吟味するにしくはなし」

問5 下線部(5)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 寛政の改革では、黄表紙作者の恋川春町が弾圧された。
- ロ 蔦屋重三郎は山東京伝の洒落本を出版したことで財産の半分を没収された。
- ハ 天保の改革では、合巻作者の柳亭種彦が処罰された。
- ニ 寛政の改革で洒落本が弾圧された後、滑稽本や人情本が人気を集めるようになった。
- ホ 寛政の改革では、歌舞伎役者の市川團十郎が江戸から追放された。

問6 下線部(6)に関連して、日本最初の日刊紙はどれか。1つ選べ。

- イ 東京日日新聞
- ロ 読売新聞
- ハ 朝野新聞
- ニ 大阪毎日新聞
- ホ 横浜毎日新聞

問7 下線部(7)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 民友社の『国民之友』は、政府の欧化政策を貴族的欧化主義として批判した。
- ロ 政教社の『日本人』では、高島炭鉱の労働者の惨状が報道された。
- ハ 北村透谷らが創刊した『文学界』は、自然主義文学の中心的存在となった。
- ニ 歌人の与謝野晶子は、文芸雑誌『明星』を創刊した。
- ホ 平塚らいてうらは『青鞥』を創刊し、女性の解放を目指す運動を行った。

問8 下線部(8)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 政治評論中心の新聞は大新聞、報道・娯楽中心の新聞は小新聞と呼ばれた。
- ロ 板垣退助らが左院に提出した民撰議院設立の建白書は『日新真事誌』に掲載された。
- ハ 徳富蘇峰によって創刊された『国民新聞』では、日露戦争開戦前、主戦論が唱えられた。
- ニ 日露戦争開戦前、幸徳秋水は『平民新聞』を創刊して非戦論を唱えた。
- ホ 高山樗牛は新聞『日本』を刊行し、日本主義を唱えた。

問9 下線部(9)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 第二次近衛内閣時にマス＝メディアを統制し戦争に協力させるため内閣情報局が設置された。
- ロ 大内兵衛は大陸政策を批判し、その著書が発禁となった。
- ハ 河合栄治郎はファシズムを批判し、その著書が発禁となった。
- ニ 石川達三の『生きてゐる兵隊』は戦場の日本軍兵士の実態を描き発禁となった。
- ホ 天皇機関説が政治問題化すると美濃部達吉の著書が発禁となった。

問10 下線部(10)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 新聞はプレス＝コードによる検閲の対象にはならなかった。
- ロ 日本国憲法で検閲の禁止が定められた。
- ハ 『世界』『思想の科学』などの雑誌の復刊が相次いだ。
- ニ GHQは教科書の記述の一部の削除を指示した。
- ホ マス＝メディアはレッドパージの対象となった。

II 次の文章を読み、問1～10に答えよ。

平城京に官営の市が設けられた頃、和同開珎が発行されたが、乾元大宝を最後に国家による貨幣発行は中断する。宋銭が流入し、取引が活発化すると、貨幣流通量は増加した。他方、生産や流通の急激な発達に対応できない一部の⁽²⁾人々の生活は窮乏し、不満の声が上がった。明銭の流通がはじまるが、貨幣需要を満たすことはできず、⁽³⁾貨幣不足が問題化した。

全国共通貨幣の安定供給が必要となり、江戸幕府は貨幣の⁽⁴⁾鑄造・流通に乗り出す。綱吉の時代以降、金銀の産出量減少、明暦の大火の影響で財政状況が急激に悪化したため、幕府は⁽⁵⁾対策を講じた。日米修好通商条約調印後、貿易の活発化により、⁽⁶⁾輸出超過となり、物価の上昇を招いた。

太政官札発行、新貨条例制定など貨幣関連制度の整備が進むと、紙幣中心の時代に移行していく。その後、戦費調達目的の紙幣増発によるインフレーション対策として松方財政が実施されると、景気状況はデフレーションに転じる。

第一次世界大戦により、大戦景気が起こり、輸出超過となる。しかし、終結後、軍需低下、アジアへのヨーロッパ諸国の商品流入、株暴落などにより、⁽⁷⁾戦後恐慌・金融恐慌に陥り、関東大震災により状況はさらに悪化した。政府は、インフレ対策として財政圧縮政策を実施し、金輸出を解禁したが、ニューヨーク市場の株暴落に端を発した世界恐慌により日本経済は深刻な打撃を受け、金輸出は再び禁止された。

第二次世界大戦後、極度の物不足と通貨増発のため、急激なインフレが発生した。⁽⁸⁾諸政策が実施され、インフレは鎮静化したものの、不況が深刻化する。

1950年代、⁽⁹⁾特需景気を経て高度経済成長時代に入る。1970年代になると、列島改造政策、公共投資拡大、第一次石油危機による原油価格の急騰などから、狂乱物価とも称されるインフレが起こった。金融引き締め政策により、スタグフレーションに陥り、戦後はじめてのマイナス成長となったため、景気刺激策が実施された。1980年代後半、⁽¹⁰⁾バブル時代に突入、後にバブルは崩壊し、平成不況の時代が続くこととなった。

問1 下線部（1）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 唐の開元通宝にならったものである。
- ロ 都の造営のために雇われた者に支給された。
- ハ 流通促進のため、蓄銭叙位令が発せられた。
- ニ 近畿地方以外ではほとんど出土していない。
- ホ 調の貢納に用いることはできなかった。

問2 下線部（2）に関連して、当時の状況に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 御家人は定期的な番役を義務づけられた。
- ロ 幕府の救済対象は御家人だった。
- ハ 御家人の金銭訴訟は禁止された。
- ニ 永仁の徳政令は2年後に撤回された。
- ホ 土地細分化回避のため単独相続が行われた。

問3 下線部（3）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 宋銭はほとんど使われなくなった。
- ロ 西日本では米や銀も貨幣として使用された。
- ハ 明銭では永楽通宝が最も多く流通した。
- ニ 悪銭を禁止し、良銭の流通を強制した。
- ホ 貨幣不足を補うために割符が使われた。

問4 下線部（4）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 両替商は三貨の両替だけを行った。
- ロ 三貨の交換率は相場状況で変動した。
- ハ 計数貨幣の小判・丁銀・一分金を発行した。
- ニ 両・分・朱は4進法で換算された。
- ホ 西日本ではおもに銀貨が流通した。

問5 下線部（5）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 三貨の交換比率を固定化した。
- ロ 朝鮮の通信使の待遇を簡素化した。
- ハ 長崎貿易による金・銀の流出を制限した。
- ニ 金含有率を引き下げた正徳小判を発行した。
- ホ 富士山噴火の被災地復興のため、国役金を徴収した。

問6 下線部（6）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 輸出入にはおもに金貨が用いられた。
- ロ 最大の取引先はイギリスだった。
- ハ 10万両以上の金貨が流出した。
- ニ 特定5品は江戸の間屋経由の輸出を命じた。
- ホ 金含有率を引き下げた万延小判を発行した。

問7 下線部(7)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 震災手形対策の特別融資を行った。
- ロ 紡績会社は中国の工場を次々に閉鎖した。
- ハ 日本銀行券を増発した。
- ニ 緊急勅令で台湾銀行を救済した。
- ホ 裏白紙幣を発行した。

問8 下線部(8)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 旧紙幣の流通を禁止した。
- ロ 企業分割制限を強化した。
- ハ 幣原内閣は経済安定本部を設置した。
- ニ 有沢広巳の提唱した傾斜生産方式を実施した。
- ホ 富裕者に財産税を課した。

問9 下線部(9)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 1950年6月～1956年6月の物資契約高1位は兵器だった。
- ロ 神武景気の期間に日本の造船量は世界1位となった。
- ハ 岩戸景気の期間に所得倍増政策が発表された。
- ニ オリンピック景気の期間に公害対策基本法が制定された。
- ホ いざなぎ景気の期間にOECDに加盟した。

問10 下線部(10)に関連して、この時代の出来事として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 日本労働組合連合会が結成された。
- ロ 海外渡航者数が1,000万人を突破した。
- ハ 非自民連立内閣が成立した。
- ニ PKO協力が成立した。
- ホ 消費税が実施された。

Ⅲ 次の文章を読み、問1～10に答えよ。

現在の京都の原形となった平安京は、南北約5.2km、東西約4.5kmの規模で、碁盤目状に計画的に造られた都市であった。794年にこの地を都に定めた桓武天皇は、律令政治の改良を含め、さまざまな改革を行った。

武家政権としての鎌倉幕府が1333年滅亡した後、足利尊氏は京都を制圧したが、南朝と北朝の対立の時代がはじまった。

南北朝の合体を実現した足利義満は、安定した室町幕府を成立させ、新仏教を支援したため、郊外にも寺院が開創され、京都の景観は一変した。さらに京中の商工業者は、座を作りながら発展していき、京都は日本最大の商工都市となった。同時に市民が増加し、都市における「町」共同体が再編されることになった。

その後百年にも及ぶ戦国時代があったが、16世紀になって、次第に復興の兆しが見えてきた。豊臣秀吉は京都全体の都市改造に着手し、徳川家康から家光の時代にはさらに、京都の社寺復興と産業に対する手厚い保護が加えられた。

明治時代になると東京への遷都が行われ、首都建設と共に京都復興のための事業が実施された。そして1889年には大日本帝国憲法が公布され、近代国家の基礎が築かれた。

大きな変貌を遂げた京都市は、1972年に伝統的な町並みを守る特別保全修景地区制度を設けたことによって、その後文化財保護法が改正され、全国的に歴史をふまえた町並みの保存活動が広がった。2004年に景観法が制定された

後、2007年に京都市は日本で最も厳しいといわれる新景観政策を定め、古都の魅力を国内外に発信している。近年京都への観光客は増大し、年間およそ5,500万人となっている。

問1 下線部（1）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 地相「四神相応乃地」に基づき、適地が選ばれた。
- ロ モデルとなったのは中国の長安城で、大きさもほぼ同じであった。
- ハ 南北の中央道路は幅員約85mの近衛大路であった。
- ニ 東京と西京には、それぞれ京職がおかれた。
- ホ 条坊制とは原則的に一条を四坊に分け、さらに一坊を四保に分け、一保を四町に分けるシステムである。

問2 下線部（2）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 勸解由使の制度を設けて、地方政治を厳しく監督した。
- ロ 蝦夷との戦争を取り止めた。
- ハ 東北地域など一部を除いて、軍団兵士制を廃した。
- ニ 雑徭の期間を年間60日から30日に減らした。
- ホ 班田収授の間隔を6年に1度とした。

問3 下線部（3）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 足利尊氏は幕府を開く方針として建武式目を発表した。
- ロ 南朝は大覚寺統の後醍醐天皇、北朝は持明院統の光明天皇が中心である。
- ハ 南北朝の動乱が長引き全国化した背景には、鎌倉時代からはじまった惣領制の解体があった。
- ニ 幕府は地方武士を動員するために、守護の権限を大幅に制限した。
- ホ 南北朝の動乱はおよそ60年にわたって続いた。

問4 下線部（4）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 平安時代には、国営寺院である東寺以外に、京中には寺院の建立が認められていなかった。
- ロ 代表的な当時の新仏教とは、浄土真宗、日蓮宗などである。
- ハ 洛中二十一カ寺本山と呼ばれる強大な寺院群を形成したのは禅宗である。
- ニ 足利義満は北山に鹿苑寺を造営し、遊芸、文芸の発展に貢献した。
- ホ 遠景の嵐山、近景の亀山を借景とした天龍寺の庭園を作庭したのは、夢窓疎石である。

問5 下線部（5）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 商人、工人が朝廷の弱体化によって仕事を失ったため、座を結んだ。
- ロ 座とは、同じ道路に面した異業種の商工業を行う見世棚の協同組合である。
- ハ 座は、その権利を保障してもらうために、貴族や社寺に貢納品を上納した。
- ニ 座の構成員のうち、天皇家に属したものは神人と呼ばれた。
- ホ 15世紀になると、座の数は60を超えるほどに増加した。

問6 下線部（6）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 通りをはさんで生まれる「町」共同体は、両側町と言われる。
- ロ 「町」共同体は、祇園祭礼の運営主体として登場した。
- ハ 「町」共同体の年寄・乙名・月行事は、町奉行によって命じられた。
- ニ 町内に町屋敷を所有し商業を営む住民が町衆と呼ばれた。
- ホ 坪庭や通り庭・走り庭は、京町家の特徴である。

問7 下線部(7)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 家康は江戸に本拠をおいたが、京都に伏見城の築城を行い、幕府の直轄都市とした。
- ロ 京都所司代や京都町奉行をおき、朝廷・公家・寺社との関係の保持にあたらせた。
- ハ 京都社寺の復興のために、年間銀五千貫を投資した。
- ニ 呉服屋・両替商など大商人の本拠地が多くおかれ、西陣織や京染・京焼などの手工業生産も発達した。
- ホ 西日本や北陸・東北地方の諸藩の年貢米や産物の集積地として発達し、天下の台所とよばれた。

問8 下線部(8)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 東京を近代的都市に改造するために、1888年「東京市区改正条例」を發布した。
- ロ 近代的な水道事業のために、東京に淀橋浄水場が建設された。
- ハ 東京の銀座通りには、煉瓦街が誕生した。
- ニ 1895年には、日本ではじめての路面電車が京都で開通した。
- ホ 平安遷都千百年記念祭において、桓武天皇を奉祝するために、京都に八坂神社が創建された。

問9 下線部(9)以降におきた出来事はどれか。2つ選べ。

- イ 華族令制定
- ロ 教育勅語発布
- ハ 日英通商航海条約調印
- ニ 秩父事件発生
- ホ 市制・町村制公布

問10 下線部(10)に関連して、都市の歴史的な成り立ちと現在の都市名との組み合わせで、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 門前町——長野県長野市
- ロ 城下町——神奈川県小田原市
- ハ 寺内町——石川県金沢市
- ニ 港町——大阪府堺市
- ホ 宿場町——大阪府富田林市

IV 次の文章を読み、問1～10に答えよ。

古代から日本列島で生活してきた人々は、技術の発明と革新を通じて文明の発展を支えてきた。弥生時代の人々は縄文文化の伝統を受け継ぐ一方、中国や朝鮮半島から伝えられた水稲農耕や金属器生産の技術を生かして、生活環境を向上させた。⁽¹⁾古墳時代には豪族と民衆の生活が分離し、在地首長は環濠や柵列をめぐる居館を中心に生活し、マツリゴトを執り行ったが、民衆は環濠のない集落に住んでいた。古墳時代は弥生時代の生産技術を受け継ぎ、多彩な文化を創り上げた。⁽²⁾奈良時代には、中央集権的な国家体制が形成され、仏教は国家の保護を受けて大きく発展した。仏教の影響力の拡大と技術の発展にともなって、すぐれた美術作品が数多く作られた。⁽³⁾

鎌倉時代には公家が伝統文化を継承したが、武士と庶民によって新しい文化が生み出された。これらの文化は技術の輸入や革新と密接な関係をもっていた。そのなかで陶器の技術は、目覚ましい発展を遂げた。⁽⁴⁾

江戸時代は職人の時代と言われ、職人は独立した手工業者として、高度な技術を取り入れた道具を用いて生産活動を行った。近世初期の職人は限られた人びとであったが、17世紀の中頃以降、都市を中心に手工業生産者の活躍が著しくなった。⁽⁵⁾幕末の日本人は外国の知識と技術に強い関心を示し、多くの人々がそれを吸収するために海外へ渡航した。⁽⁶⁾

明治政府は民間の活力を引き出すために、1884年頃から官営事業の払下げを進めた。その結果、財閥が成長し、産業

の発展に中心的な役割を果たした。1886～89年に日本は最初の企業勃興を迎え、鉄道や紡績などの会社が多く設立された。しかし、1890年ころになると、このブームも下火になった。紡績業は日本の産業革命の中心であったが、紡績業の発展を支えたのは、輸入された大型力織機であった。一方、重工業も政府の奨励政策などに刺激され、日清戦争後に大きな発展を遂げた。

昭和期に入ってから、日本は深刻な恐慌に見舞われた。政府は一連の政策を打ち出し、産業界も効率のよい機械を導入した結果、経済は比較的早く回復することができた。戦争は日本経済に壊滅的な打撃を与えたが、終戦から30数年間、日本は経済の民主化と技術革新を強力に進め、経済復興を実現した。

問1 下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 弥生時代の水田は、灌漑・排水用の水路も備えていた。
- ロ 収穫物は高床倉庫で保存された。
- ハ 弥生時代前期には鉄器が普及した。
- ニ 弥生時代にはブタの飼育が行われた。
- ホ 銅鐸などを用いて、収穫を感謝する祭が行われた。

問2 下線部(2)に関連する記述として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 礎石の上に柱を立てる建築技法が用いられた。
- ロ 5世紀に朝鮮半島から土師器の製作技術が伝えられた。
- ハ 弥生土器から発達した須恵器が改良され、より硬質なものになった。
- ニ 古墳時代の祭器として鉄製農工具が用いられた。
- ホ 百済の僧観勒が紙や墨の技法を伝えた。

問3 下線部(3)に関連して、奈良時代に乾漆像の技法で作られた彫刻はどれか。2つ選べ。

- イ 東大寺法華堂日光・月光菩薩像
- ロ 東大寺法華堂不空罽索観音像
- ハ 東大寺戒壇堂四天王像
- ニ 新薬師寺十二神将像
- ホ 唐招提寺鑑真像

問4 下線部(4)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 瀬戸焼は中国大陸の製品の影響を強く受けた。
- ロ 加藤景正が瀬戸の陶器をつくり始めたと確認されている。
- ハ 常滑焼や備前焼が広く流通した。
- ニ 白磁の輸入はほとんどみられなかった。
- ホ 南宋の青磁が多く輸入された。

問5 下線部(5)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 職人は幕府や大名に把握されていた。
- ロ 職人は武家屋敷の建築や武器の生産も担っていた。
- ハ 職人は幕府や大名に技術労働を提供して収入を得ていた。
- ニ 職人は百姓や町人の役負担を免除された。
- ホ 職人が仲間や組合を組織したが、幕府に解散を命じられた。

問6 下線部(6)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 幕府はドイツの顧問団を招き、横須賀に造船所を建設した。
- ロ 開国後長崎でオランダ人による海軍伝習が始まった。
- ハ 幕府は講武所で洋式砲術などの武芸を教えた。
- ニ 森有礼はイギリスに留学した。
- ホ 勝海舟は咸臨丸で太平洋を横断した。

問7 下線部(7)の原因として、関係の深いものはどれか。2つ選べ。

- イ 株式投資が拡大できなかった。
- ロ 日本勧業銀行や日本興業銀行からの資金供給が迅速に行われなかった。
- ハ 凶作により、産業界が大きな打撃を受けた。
- ニ 生糸の輸出が大幅に減少し、貿易が大きな打撃を受けた。
- ホ 政府が地方改良運動を推進し、町村の租税負担を増やした。

問8 下線部(8)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 八幡製鉄所はイギリスの技術を導入して操業を開始した。
- ロ 八幡製鉄所は中国の漢陽鉄山の鉄鉱石を安価に入手した。
- ハ 巻上機の導入で、石炭や銅の輸出が増加した。
- ニ 日清戦争後、排水用蒸気ポンプを導入した筑豊炭田は国内最大の産炭地となった。
- ホ 民間の重工業が本格的に発達し始めたのは、日露戦争後である。

問9 下線部(9)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 産業界の合理化を図るため、カルテルの結成を進めた。
- ロ 綿織物はアメリカに次いで世界2位の輸出国になった。
- ハ 日本製鉄会社の設立により、鋼材の自給が実現した。
- ニ 農業部門は工業部門より早く恐慌の打撃から回復した。
- ホ 斎藤実内閣の下では、公共土木事業に農民を雇用し、現金収入を得させた。

問10 下線部(10)の時代の出来事として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 過度経済力集中排除法で指定された企業の大半が分割されたため、企業の国際競争力が低下した。
- ロ 占領下の日本では、独占禁止法は改正されることはなかった。
- ハ 佐藤内閣は、新都市計画法を制定した。
- ニ 八幡製鉄と富士製鉄が合併して、新日本製鉄が設立された。
- ホ 鉄道電化の影響もあって、1970年に石油の需給がはじめて石炭を超えた。

〔以下余白〕

早稲田大学 社会科学部
2018年度 入試問題の訂正内容

<社会科学部 一般入試>

【日本史】

●問題冊子6ページ：設問 II 問10 選択肢 イ

(誤)

イ 日本労働組合連合会が結成された。

(正)

イ 日本労働組合総連合会が結成された。

以上